

使いやすい！ 教えやすい！ 学びやすい！

三訂 介護職員 初任者研修テキスト

介護職員関係養成研修テキスト作成委員会（委員長 京極高宣〈国立社会保障・人口問題研究所名誉所長〉）

2024年7月
発行！



※画像は通常版

1 根拠に基づく「考えるケア」の土台作り

自己選択・自己決定を前提に、自立支援に向けた介護を行う専門職の養成に寄与する内容

2 自己学習を助けるテキスト・映像教材

予習と復習時の理解を促す図解やイラスト・動画を用い、ボディメカニクスに立脚した生活支援技術を学べる映像教材付き

3 「通常版」「ふりがな版」の2種類をラインナップ

本文・脚注・イラストなど全文にふりがなを付した「ふりがな版」は外国人介護人材等の育成にも最適

4 地域包括ケアを担う一員を目指して

認知症ケア、医療・看護・リハビリテーションとの連携を重視し、多職種協働の一員としても評価を得る内容

5 講義・演習をサポートする補助教材等の提供

テキストで採用の場合、通信教育に対応した『学習課題』、修了時の『修了評価試験問題』等を実費でご提供（書店よりご購入の場合で、補助教材をご入用の方は、下記へご連絡ください）

通常版

ふりがな版

送料無料

三訂 介護職員初任者研修テキスト

●税込価格：7,124円（税抜価格6,477円）

●テキスト：B5版・全3巻・ケース入り・分売不可

テキスト内容（全3巻 1,181頁）

第1巻	人間と社会・介護1	[326頁]
第2巻	人間と社会・介護2	[416頁]
第3巻	こころとからだのしくみ	[439頁]
映像教材	職務の理解編（QRコード付）	[約90分]
映像教材	介護技術編（QRコード付）	[約150分]



HP書籍紹介



ふりがな版立読み



メルマガ登録

スマートフォンで読み取ってください

お申込み・お問合せ

一般財団法人 長寿社会開発センター 出版管理部

〒105-8446 東京都港区西新橋3-3-1 KDX西新橋ビル6F

TEL 03-5470-6760（営業時間：平日9時～17時半、土日祝休み）

E-Mail: shuppan@nenrin.or.jp Web: <https://nenrin.or.jp/>

<テキストの特色>



『三訂 介護職員初任者研修テキスト』の魅力をご紹介します♪

重要な
キーワード
の表示

第5節 心身の状態に合わせた移乗介助

学習のポイント

- 移動・移乗に関するからだのしくみについて理解しましょう。
- 移動・移乗に関して、指示に基づいて介助ができるようにしましょう。
- 体位変換に関するからだのしくみについて理解しましょう。
- 体位変換に関して、指示に基づいて介助ができるようにしましょう。

キーワード

biomechanicsの基本原理 重心・重力の動きの理解、移乗介助の具体的な方法（車いすへの移乗の具体的な方法、全面介助でのベッド・車いす間の移乗、全面介助での車いす・洋式トイレ間の移乗）

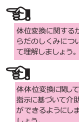
1 移乗介助の具体的な方法

利用者の心身の状態や移乗する対象物等を理解して、安全に移乗できるように支援しましょう。利用者の残存している能力や潜在能力を見出し、活用することが大切です。できるだけ利用者自身で移乗することを目指しますが、問題がある場合には、介護職が支援します。

1 起き上がり

移乗動作は、ベッド上で起き上がりから始めます。

(1) 起き上がり動作
側臥位からの起き上がり動作は、寝返り動作を基本にしています。左右への寝返りができれば、ベッド上で起き上がることは比較的に容易です。

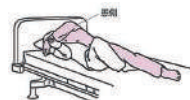


体位変換に関するからだのしくみについて理解しましょう。

寝返り動作に関して、指示に基づいて介助ができるようにしましょう。

174 ●第7章 移動・移乗

学習のポイントの
掲載箇所を
側注に表示



- ①顔を寝返る方向に向ける。
- ②麻痺のない側の上半身で麻痺側の上半身を支え、寝返る方向に向ける。
- ③麻痺のない側の下半身で麻痺側の下半身を支え、寝返る方向に向ける。



- ④麻痺側の上半身を寝返る方向に動かしながら肩周りを回す。
- ⑤麻痺側の下半身を寝返る方向に動かしながら肩を回させる。
- ⑥身体全体をねじりながら側臥位になる。



- ⑦股関節や腰に痛みが出ないことを確認のうえ、両下肢をベッドの下に下ろす。
- ⑧麻痺のない側の肘をついて上体を起こしはじめると。



- ⑨麻痺のない側の手のひらでマットやシーツの上体を安定するまで起こす。

(2) 起き上がりのための仰臥位から側臥位（右麻痺・一部介助・対面法）

寝返りをする側に十分なスペースを確保します。スペースがない場合は、利用者をベッドの片側に寄せます。

- ①利用者にこれからすることを説明し、同意を得ます。
- ②介設機は健側に立ち、介助しやすい高さにベッドを調整します。
- ③介設機のほうに顔を向けてもらいます。
- ④患側の肘が床に届かないように、健側の手で患側の肘を床の上に置きます。片麻痺の場合は、肘が後ろにいきやすいのでしっかりと前に出します。
- ⑤膝を立てられる場合は、両膝を立てます。できない場合は介助し、膝を立てたままの状態にします（図53）。できない場合は膝を臀部に近づけるように、膝を高く立てます（図54）。
- ⑥介護職は右手で利用者の肘を支え、左手で肘を支え、肘を床の上に倒します。そうすると、肘が床の上に倒ります。

分かりやすい
イラストが
いっぱいだね！



側注で
専門用語を
丁寧に解説！

※ページ画像等はイメージです。実物とは異なる場合があります。

POINT
1

介護技術を詳しく
学べる「映像教材」付き！



利用者の尊厳がテーマの「職務の理解」編、生活支援技術が学べる「介護技術」編の映像教材をスマホなどで視聴できます。

POINT
2

無償の補助教材で
講座運営をバックアップ！



修了評価試験や通信課題など、講座の運営に役立つ補助教材をデータで無償提供します。（提供には条件あり）

<テキストのご注文方法>

●ご注文は、オンラインショップ「長寿Bookstore」よりお願いします

●ご注文方法 <https://nenrin.shop/>

PC・スマホで
『長寿Bookstore』
を検索
(右のQRコードから)

『商品一覧』から
ご希望商品の
画像を選択

数量を入力し、
『カートに入れる』
または
『すぐに購入する』

お届け先などの
『お客様情報』を
入力し、購入完了

●QRコードはこちら

長寿Bookstore

初めてご利用の
お客様



スマートフォンで読み取ってください